



2019・7・11

第 344 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 具体的な問題でこそ徹底した憲法論議を

### 9条改憲の真のねらいは？

G20サミット参加のため来日したトランプ米大統領は、アメリカだけが一方的に日本防衛の義務を負う日米安保条約は「不公平」の発言を繰り返しておこないました。安倍首相が「われわれには新たな責任がある。それは、日米安保条約を堂々たる双務性にしていくことだ」「軍事同盟というのは“血の同盟”。…今の憲法解釈のもとでは、日本の自衛隊はアメリカが攻撃されたときに血を流すことはない」（『この国を守る決意』）と言ってきたことに目をつけ、日本の軍事分担をさらに拡大させるねらいといえます。

実際に安倍首相は、米軍が攻撃されたときには自衛隊も一緒に戦う集団的自衛権の行使について、それまでの「違憲」との憲法解釈を、条件をつけながらも「合憲」に変更。そして米軍との共同作戦の区域も軍備もどんどん広げる安保法制の強行によって、「(米軍と) 助け合うことができるようになった」とその“成果”を誇ってきました(30日インターネット番組)。

ところが、参院選でこれを追及されると、「憲法の制約があって完全な双務性にす

ることはできない、いわば集団的自衛権のフル行使はできませんというのが今の私の考え方」(7日、フジテレビ)と9条改憲の真のねらいが、この「憲法の制約」を一切取り払うことにあるとの本音を思わずポロリ。抽象的な改憲論議のおしつけはやめ、こうした具体的問題でこそ憲法論議をつくすべきです。

### 改憲派の地域宣伝に警戒感を

【群馬県／「九条の会」群馬ネットワーク】 「九条の会」群馬ネットワークは6月15日、前橋市総合福祉会館で「活動交流与学習の集い」を開催しました。集いには全県各地9条の会の皆さんが参加、講師は群馬弁護士会から金井厚二弁護士が見えられ、講演のなかで群馬弁護士会の「改憲阻止声明」を解説されました。そして護憲団体及び野党対日本会議議員連盟や日本会議をはじめとする改憲勢力の「綱引き」で今が踏ん張り時であると訴えました。

県ネットワークは5月7日の事務局会議で「美しい日本の憲法をつくる国民の会」は9条改憲チラシ“ありがとう自衛隊”で、自衛隊に「感謝と激励の声を広めよう」「あ

りがとう自衛隊を憲法に明記しよう！」と  
駅頭などでチラシを配布し、改憲派も必死  
の取り組みをしていることを重視し、改憲  
派の動きを確認し、3000万人署名運動を飛  
躍させるために集いを計画したものです。

司会の富田座長は、「ネットワークは結成  
いらい13年、9条改悪反対の活動を積み重  
ねてきました。今こそ、その力を抛り所に  
全力を上げてあらゆる反対活動をやらなく  
てはならない。全県の進んだ経験を学び次  
に生かしましょう」と挨拶されました。

### <第1部 活動交流（メイン報告）>

#### ①地域の9条の会とともに署名行動

群馬民医連の小崎領さん「南橘9条の会  
の事務所が地域にあり、職員10名が交代で9  
条の会の皆さんと毎週月曜日に署名行動を  
行っています。2017年11月から6月まで48  
回の行動で約400筆を集めました。訪問先で  
は”よく来てくれた””ありがとう”と励ま  
されます。若い職員は「ベテランの9条の  
会の皆さんとの共同行動を通して成長して  
います。」

#### ②前橋地域の市民アクション

「9条の会」前橋連絡会・浅尾剛さん「前  
橋では市内の9条の会が情報交換と励まし  
合う目的で連絡会を発足させ11年になりま  
すが、毎回、11から12の会が会議に参加し  
ています。2018年3月「大胡市民の会」、11  
月「南橘地区市民アクション」が発足し、  
今年の3月に「かいがや市民の会」が発足し  
ました。それぞれ署名行動に取り組んでい  
ます。近く中川地区も発足する予定です。」

#### ③高崎地域の市民アクション

座長から高崎連絡会の発言を求められ、  
長井明さんが報告しました。

「1つの会を残し『高崎9条ネットワー  
ク』が結成できました。高崎駅東口の「土  
曜行動」で署名を呼びかけていますが、署  
名協力者が減っています。6月20日に会議  
をもって相談します。」（以上、群馬ネッ  
トワーク交流会メモ 飯田至弘）

### <自衛隊における“いじめ”とは>

#### ④相馬が原の自衛隊は今……

渋川北群馬9条の会の生方敏博さんから  
相馬が原陸上自衛隊（60周年記念行事）な  
どの活動実態と、防衛大でのいじめ訴訟に  
ついての調査報告がありました。また最近  
安倍政権と改憲勢力が駅頭などで盛んに配  
布している“ありがとう自衛隊”というチ  
ラシの危険性・巧みな勧誘方法なども紹介  
されました。

防衛大いじめ訴訟原告のAさんに対する  
いじめの一つを紹介します。「Aさんを含め  
て部屋に1年生全員が、指定された風俗店  
で性行為をし、その写真をSNSに投稿する  
よう命令され、それをAさんは拒否した。す  
ると命令に従わない人間だということで陰  
部にアルコールを吹きかけられて火をつけ  
られた。部屋長の上級生に相談したら「反  
抗的なお前が悪い」と頭を拳でなぐられた。  
防衛大のカウンセリングルームに相談した  
ら、「1ヶ月もすればいじめは止むだろうか  
ら耐えろ、と言われた」

上下関係の極めて厳しい防衛大の“いじ  
め”の一端です。（以上、「南橘地区九条  
の会ニュース」No122より）

### 参院選は正念場のたたかい

【埼玉県／オール埼玉県総行動実行委員  
会】 安保関連法の廃止を求める「オール

埼玉総行動実行委員会は6月28日、さいたま市のJR浦和、大宮の両駅前で地元の地域連絡会とともに「選挙に行こう！政治を変えよう！」と緊急街頭宣伝を行いました。

小出重義実行委員長は「参院選は正念場のたたかい。安倍政権が憲法に自衛隊を書き込むことで9条は死んでしまう。右も左もなく主権者の権利を行使し、必ず選挙に行きましょう」と熱くよびかけました。

後援団体の埼玉弁護士会、埼玉労連の代表が連帯あいさつし、連合埼玉がメッセージを寄せました。弁護士会の代表は「アメリカの戦争に日本も参戦しろと言われたら、拒否できるでしょうか。選挙に行って、阻止しよう」と強調し、埼玉労連の代表は、「沖縄県民の新基地ノ一の総意を踏みにじる安倍政治を変えよう」と訴えました。

市民団体の代表も年金や消費税増税、憲法改悪などへの安倍政権に対する怒りを訴えるとともに、「投票に行こう」と呼びかけました。

## 野党統一候補の勝利めざして

【和歌山県／憲法9条を守る和歌山県弁護士会】 「憲法9条を守る和歌山県弁護士の会」は1日、「憲法の破壊を許さないランチTIMEデモ」を和歌山市で実施し、70人が参加しました。

市役所前でのデモ出発で参院選和歌山選挙区の野党統一候補、ふじいみきお弁護士は、20カ国・地域首脳会議（G20大阪）後の会見でトランプ米大統領が日米安保条約について「不公平」「変えるべき」との考えを日本側に伝えたことを明らかにし、憲法9条を改悪し自衛隊はいっしょにたたかい

血を流せという要求をあらわにしたと糾弾。

「トランプ大統領に寄り添うことばかりの安倍首相に憲法をまかせるわけにはいかない」と安倍政権への審判を訴えました。

参加者らは「戦争する国ぜったいアカン」「9条守れ」などとコールしながら行進しました。

## 選挙で政治を変える決意確認

【奈良県／安保法制廃止と立憲主義の回復を求める市民連合・奈良】 「市民連合・奈良」（奈良市民連合）は6月30日、奈良市内で学習決起集会を開き、会場いっぱいの400人が参加しました。

奈良市民連合事務局の池本昌弘氏は、参院選勝利のために、西田一美参院奈良選挙区野党統一候補と「合意確認書」を、県内の立憲野党5党（日本共産党、国民民主党、立憲民主党、社会民主党、新社会党）と「協定書」を締結したと報告しました。

西田候補は、安倍政権のもとで貧富の格差の拡大や着々と進められる戦争への道を何としても止めなければと話し、「弱いものが切り捨てられる政治にピリオドを打つ」と決意をのべ、5野党の代表がそれぞれ「西田氏の勝利に全力をあげる」と訴えました。

「市民連合」の福山真劫氏は、「奈良は、絶対に勝てる選挙区」とのべ、それぞれの政党の支持層を集結させ、奈良の選挙共闘をつくりあげようと訴えました。「戦争させない！9条壊すな！総がかり行動実行委員会」の菱山南帆子さんは、具体的な未来像を示しながら「一緒に変えよう」と呼びかけ、しっかりと対話していくことが大切と話しました。

参加者はプラスターを手に「選挙で変えよう！西田でかえよう！」などとコールし、会場は熱気につつまれました。

## 自衛隊が名簿閲覧、小金井でも

【東京都小金井市／こがねいピースアクション】 安倍晋三首相は今年の自民党大会で、憲法改正に絡めて「自衛隊員募集に対し、都道府県の6割以上が協力を拒否しているという悲しい実態がある」と発言しました。この発言は自治体に対する圧力であり看過できません。

自衛官募集について市町村に協力を求める根拠となる自衛隊法などでは、市町村が資料提出に応じる義務はありません。

小金井市では、毎年自衛隊協力本部が市長に面会するとともに昨年度は18歳、22歳等の3600名を超える名簿の閲覧が行われています。自衛隊を憲法9条に明記するための下地づくりは許されません。(東町、森戸) (「こがねいピースアクション2015」52号)

## 住職の9条への思い全戸ビラに

【和歌山県みなべ町／みなべ9条の会】

みなべ町の5つの寺院の住職は、南部9条の会の呼びかけに応じ、5月3日、9条への思いを公表し、そのビラは町内全戸に配布されました。(編集部・紙幅のつごうでお2人だけご紹介します)

＜先輩たちの遺骨を駅に迎えた苦しみ＞

みなべ町堺 定福寺前住職 畑崎 龍定

私は、自民党にも共産党にも、また他の諸政党にも所属するものではありません。不殺生戒という、生きとし生けるものの命を大切にすることを説く、釈迦の教えを心

の羅針盤として生きている仏教徒です。

多感な青少年時代を戦時体制下教育を受け、いくたびか戦没者となられた先輩たちの遺骨を南部駅に出迎えた。あの暗く重苦しかった、悲惨な戦争中のさまざまな出来事を想起するにつけ「戦争放棄」という世界に冠たる「憲法九条」の改悪につながる動きには仏教徒の一人として断固反対します。

＜三度留置所に入った父の遺言＞

みなべ町清川本誓寺前住職 赤松 宗典

すべての者は暴力におびえ、すべての者は死を恐れる。己が身をひきくらべて、殺してはならぬ。(ブッダ 真理のことば 中村元訳)

私の父は三度留置所に入った。

一度目は、軍隊に半鐘を差し出すことを拒否、仏具を兵器にしなかった。

二度目は、竹やり持参で集合との命令に背き、挙げ句の果てに終戦を迎えた。

三度目は、終戦後、大地主から里山に山を開墾畑として解放せよ、と普遍的立法で植民地解放を説いた。

さて、「日本国憲法、第九条」は戦争放棄をうたう釈迦の教えそのものだ。父が実践した私への遺言だ。又、宇宙から観れば、消え入りそうに小さな地球、戦争放棄はその小さな星を構成する全生命体の尊厳なる悲願だ。

地球は人間だけの所有物では決してない。

「日本国憲法、第九条」こそ、

世界平和ノーベル賞だ。

地球を殺してはならぬ。

殺さしめてはならぬ。

(「たなべ9条通信」No141)